

結 果 の 考 察

1 発育状態について

愛媛県の子どもたちの発育状態を、全国平均や平成 21 年度の県平均の数値と比較してみると次のようになります。

(1) 身 長

平成 22 年度の愛媛県男子の身長は、全国平均と比べると、すべての年齢において、数値が下回っています。また、平成 21 年度の県平均と比べると、7 歳、9 歳、11 歳、12 歳の各年齢で数値が下回っているものの、それ以外の年齢では、数値が同じか上回っています。

平成 22 年度の愛媛県女子の身長は、全国平均と比べると、男子と同様にすべての年齢において、数値が下回っています。また、平成 21 年度の県平均と比べると、9 歳、11 歳～13 歳、17 歳の各年齢で数値が下回っており、それ以外の年齢では、数値が同じか上回っています。

(2) 体 重

平成 22 年度の愛媛県男子の体重は、全国平均と比べると、すべての年齢において、数値が下回っています。また、平成 21 年度の県平均と比べると、9 歳だけが数値が下回っているものの、それ以外の年齢では、数値が同じか上回っています。

平成 22 年度の愛媛県女子の体重は、全国平均と比べると、6 歳～11 歳、13 歳、16 歳の数値が下回っており、それ以外の年齢では、数値が同じか上回っています。また、平成 21 年度の県平均と比べると、12 歳～17 歳の数値が下回っており、それ以外の年齢では、数値が同じか上回っています。

(3) 座 高

平成 22 年度の愛媛県男子の座高は、全国平均と比べると、すべての年齢において、数値が下回っています。また、平成 21 年度の県平均と比べると、9 歳の数値が下回っているものの、それ以外の年齢では、数値が同じか上回っています。

平成 22 年度の愛媛県女子の座高は、全国平均と比べると、男子と同様にすべての年齢において、数値が下回っています。また、平成 21 年度の県平均と比べると、8 歳、12 歳の数値が下回っているものの、それ以外の年齢では、数値が同じか上回っています。

以上のように若干の変化は見られますが、全国と比較してみますと、身長、体重、座高ともに、全国平均値及び前年度の県平均値との差は僅かです。

今後は、身体の発育と運動は非常に密接な関係があることから、学校生活や日常生活の中で、積極的に体育活動に取り組むよう促すとともに、望ましい生活習慣を身に付けるように指導していくことが大切です。

2 疾病状況について

疾病状況について、疾病異常被患率を全国平均値と比較してみますと、いくつかの項目で問題点がみられます。

(1) 視力

裸眼視力については、1.0未滿の者の割合が、昨年度までは、小学校までは全国平均値より低いかほぼ同じでしたが、本年度は、小学生から全国平均をやや上回りはじめ、中学生、高校生になると50パーセントを超え、全国平均を大きく上回っています。

なお、本県の状況の年次推移を見ると、全般的に上昇傾向が続いている状況にあります。

(2) 歯・口の健康

う歯の状況については、幼稚園、小学校の男女及び中学校男子において、未処置歯のある者の割合が全国平均値を上回っています。

すべての項目において、学校、保護者、関係機関が互いの連携を十分取り合いながら、健康観察や健康診断の結果を踏まえ、保健指導などにより疾病予防に努めるとともに、一人ひとりに合った事後措置の徹底が望まれます。